

ニュースをメールで受け取り希望の方へ

件名に「みんなニュースをメールで受け取り希望」、本文にフルネームを入れていただき、配信希望のアドレスから kodomo21@zb.ztv.ne.jp に送信をお願いします。

♥ 令和8年度定期総会のお知らせ



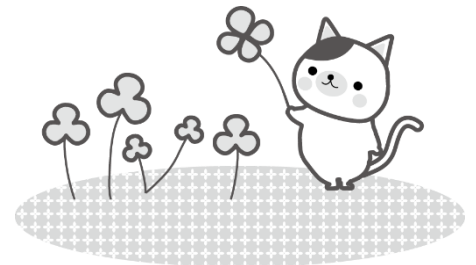
- ✿日時：5月24日（日） 15:00～16:30 受付14:50～
- ✿会場：伊勢市生涯学習センター（いせトピア） 1階 会議室1

当日は令和7年度の事業報告案と決算案、令和8年度の予算案と事業計画案、役員案があります。会員であればどなたでもオブザーバーで参加できます。

今年度も下記事業を行っていく予定です。

《ファミリーサポート事業》

- ・いせファミリー・サポート・センター運営事業
- ・度会郡・大台町ファミリー・サポート・センター運営事業（玉城町・度会町・南伊勢町・大紀町を担当）
- ・シニアサポート事業
- ・産褥期サポート事業
- ・伊勢市育児・家事支援事業
- ・集団・個人託児事業



《子育て支援事業》

- ・チャイルドヘルプラインMIEネットワーク伊勢実施組織運営事業
- ・児童養護施設入所児童への学習支援事業
- ・里親啓発事業
- ・チャイルドシート一時レンタル事業

《文化芸術体験事業》

- ・休止中

♥ 提供会員養成講座(いせファミリー・サポート・センター)



第1回は度会郡・大台町ファミリー・サポート・センターと協働で開催しました。

会場は小俣環境改善センターと、度会町役場の二か所で、参加者は新規3人、5年再受講7人、登録は3人でした。

第2回は新規3人、5年再受講6人、登録は2人。新規のうち1人は依頼会員の方が託児を利用しての受講となり両方会員になりました。ご自身の育児の役に立ったし、まわりの子育て仲間にも知ってほしいと思われたそうです。

第1回第2回とも受講者は皆とても熱心に講師の話に聞き入り、振り返りでもとても有意義な時間を過ごせたとの意見が多くありました。活動にも意欲的で、何人かの方は早速フル活動していただいています。

5年再受講の方は、年数が経過することで子育て世代の状況が変わり、新しい情報を知ることによりお母さんたちを理解できることを認識していただけたと思います。

提供会員は別のお仕事をしながらでも隙間時間でサポート活動をしていただいている方もたくさんいらっしゃいます。今年の8月22日、23日、29日、30日、9月5日、6日のいずれか5日間で2026年度第1回の提供会員養成講座を予定しています。（広報に掲載予定）

♥ 研修会(いせファミリー・サポート・センター)



9月28日（日）に、チャイルドヘルプラインMIEネットワーク主催の「子ども支援者養成講座」の中から3講座を抜粋してファミサポ研修会とさせていただきました。

- | | | |
|---|--------------------------------------|----|
| ① | 子どもの権利と性～生と性を伝える～ | 5人 |
| ② | 子どもからみたネットメディア | 7人 |
| ③ | 子どもにはチカラがある ～子どものエンパワーメントを支えるおとなの役割～ | 5人 |

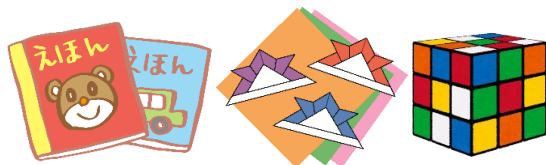
- ① 以前の講座で「子どもの虐待」の話を聴きました。年齢別グラフで0歳児に対する虐待数が突出していて、殺人に至る結末に衝撃を受けました。
10代での出産や望まぬ出産が原因となっていることが大きいです。
その時に思った事は「当事者たちが大切に育っていける周囲の理解と、今以上の制度の拡充が出来れば良いのに・・・」です。
しかし心の中に大きなモヤモヤとしたものが残っていました。
当事者や生まれた子どもが後ろめたさを感じて生きていかななくても良い社会。出産後も高校を続けたり、仕事を持って生きていける社会が必要なんだと感じていました。
もちろんその様な受け皿も大切です。
本日の講座に参加して、そのモヤモヤとしたものが、“人権”『自分らしく幸せに生きる権利、誰もが生まれながらに持っている』を知る、考える教育が重要で、当事者にとっても最も大きな力になるのだと理解しました。
モヤモヤとした思いが解消されました。金丸先生、中谷先生の講座は多くの方たちに聴いていただきたいと、強く思います。
- ② ネットに限らずいじめは実在しているし、ネットのせいでいじめが増えたということはないということがわかりました。
今はネット環境が日常的にあるので、子どもの方が影響が大きいのが気になりました。
子どもの悩みを把握するのは親でも難しいが、第三者が味方になることもないと周知していけば安心できる子どもが増えるのではないかと思った。
大人以上にネットに詳しい子どもも多いと思うので、子どもが使いやすいツールで相談できる窓口を多く作ることが大切だと思った。
- ③ 私は子どもと対等にしている、同じ目線に立っていると思っていましたが、そう思っている事が対等ではない事を知りました。
力ある大人は対等ではないと感じながら子どもに接する。
子どもは生きていだけでチカラがある。
一人の子どもが元気になる事は社会を元気にする事に繋がる。
これからも子ども達と接したいと思いました。

♥ 交流会(いせファミリー・サポート・センター)



10月26日(日)に予定していましたが、参加申し込みがなかったため、1月17日(日)に再設定しました。3家族の申し込みがありましたが、当日は残念ながら1家族欠席となり2家族で行いました。1家族はMy防災リュックを持参し、防災士である中川眞由美さんのお話を聞きながら再点検し、プラスで必要なものを書き出し、もう1家族はまだMy防災リュックを準備していなかったのですが、お子さんがたまたま同じ学校で顔見知りだったので子ども同士和気あいあいと話し合いができました。

その後「My持ち出しグッズ」を揃えるために100均ショップでお買い物をしました。こちらも公益社団法人日本非常食推進機構からいただいた果汁100%のペットボトルジュースと備蓄用ビスケットを配布しました。



リュックには
こんな癒しグッズも必要ね!

♥ 学習支援研修会



- ① 「里山学院での経験から ～社会的養護施設について～」
講師：里山学院院長 鍵山雅夫

先生の「せっかく施設に来たのだから、子どもと一緒に楽しんでやろう！」と言う、就任当初の発想がとてもユニークで面白かった。また、「小学生は宿題より友達の家遊びに行きなさい。」と言う指示もとても奥が深く、いわゆる、形骸的な施設におけるルールや、大人の目出張り巡らされた、いたずらができない環境で

は、色々な家庭のことを知らない子ども達にとって、正に救世主みたいな発想で養護を行っていたことが素晴らしいと思いました。

何故なら、養護施設でのこれらのことの実践は通常はとても難しい事であったと思われるからです。また、結論として先生が言う「施設の子は人を信用する事ができない。信頼関係の構築から始めなければならない。」は今まで、養護施設での様々な経験を経て来たからこそその究極の結論であるのだろうと思いました。 M.K.

②「この子のこの先」

講師：スーパーバイザー 増田和正先生

命の重さに代わりがなく、一人一人かけがえのない存在で「地球と同じだけ大事だと」と言うことを学びました。複雑な環境で育った子供たちに軽々しい言葉をかけることはできませんが、その子が自己肯定感を持てるように寄り添い自立できるように支援することが大事だと思いました。 C.H.

♥子どもの権利条約



第28条

- 1 締約国は、教育についての児童の権利を認めるものとし、この権利を斬新的にかつ機会の平等を基礎として達成するため、特に、
 - (a) 初等教育を義務的なものとし、すべての者に対して無償のものとする。
 - (b) 種々の形態の中等教育(一般教育及び職業教育を含む。)の発展を奨励し、すべての童に対し、これらの中等教育が利用可能であり、かつ、これらを利用する機会が与えられるものとし、例えば、無償教育の導入、必要な場合における財政的援助の提供のような適当な措置をとる。
 - (c) すべての適当な方法により、能力に応じ、すべての者に対して高等教育を利用する機会が与えられるものとする。
 - (d) すべての児童に対し、教育及び職業に関する情報及び指導が利用可能であり、かつ、これらを利用する機会が与えられるものとする。
 - (e) 定期的な登校及び中途退学率の減少を奨励するための措置をとる。
- 2 締約国は、学校の規律が児童の人間に尊厳に適合する方法及びこの条約に従って適用されることを確保するためのすべての適当な措置をとる。
- 3 締約国は、特に全世界における無知及び非識字の廃絶に寄与し並びに科学上及び技術上の知識並びに最新の教育方法の利用を容易にするため、教育に関する事項についての国際協力を促進し、及び奨励する。これに関しては、特に、開発途上国の必要を考慮する。



初等教育とは日本では小学校、中等教育は中学校の事で、すべての児童は両方の教育を受ける権利を持っています。養育者には受けさせる義務があります。

私は自分の子どもが4, 5年生の時、「学校に行きたくない」と言ったので「行く義務がある」と、こんこんと話をした覚えがあります。子どもは不思議に思ったのか、「文部省に聞く」と電話番号を調べ自分で電話を掛けました。たまたま時間外で対応はしてもらえませんでした。その後私が「子どもの権利」を知ったとき、子どもは学校に行ける権利があり、養育者は行かせる義務があることを知り、間違っている自分に気づき、子どもに謝った記憶があります。

現在家庭状況、子どもを取り巻く状況また子育てに関する考えが様々で、教育を受ける形が多様化されています。また学校に行きにくい子どもも多くなっています。その子に合った環境で教育が受けやすいように学校の形式も変化しています。保護者はその子が過ごしやすく教育が受けられる環境の選択肢をひろげ、子どもに知らせることも大切かと思えます。

また「就職する時に学歴が採用、不採用の判断になる」と聞いたことがあります。学歴がなくても、その子の持っている得意な分野をいかし、力が発揮できる仕事に就くのは、幸せな選択肢かと考えていましたが、現在の学歴社会の中で生きていくのも大変なんだと思いました。

子どもが自分の人生の設計を学歴などにとらわれず、自分のやりたいことを選択できる社会になって欲しいと思います。

♥いろいろお知らせ



以前から伊勢市のホームページにファミサポの紹介動画がありましたが、この度リニューアルされました。依頼会員さんと提供会員さんのご協力のもとサポートの様子が撮影され、ファミサポのことがとてもよくわかる動画となっております。ぜひご覧いただき、「ファミサポってどんなの?」って聞かれたときにはこの動画をご紹介いただくと良いかと思います。
伊勢市公式ホームページ⇒広報いせ▶動画配信⇒メニュー▶YouTube伊勢市役所チャンネル⇒動画 新しい順で「いせファミリー・サポート・センター会員募集」をご覧ください。

♪ **大杉谷自然学校プログラム紹介** 事前に申し込みが必要です(参加費あり) ⇒ HP:<https://osugidani.jp/>

◎おおすぎっ子クラブ

日程:5/30(土) 宮川で魚釣り♪ 7/20(月祝) 谷で生き物探し&川遊び♪ 11/14(土) 森散策&苔テラリウム
時間:10:30~15:00 **対象**:小学生と小学生以上の家族 **定員**:30人 **参加費**:あり
集合解散:大杉谷自然学校

◎おおだい森のようちえん

日程:5/9(土)、9/12(土)、11/7(土)、12/19(土) 4回通して参加
時間:10:30~14:30 **対象**:4才~6才の子どもとその家族 **定員**:40人 **参加費** あり
集合解散:子ども王国(大台町栃原 459) 天候により変更あり



◎わくわく宮川デイキャンプ

日程:7/30(木)、8/10(月) **時間**:10:40~18:10 **対象**:小1~中3 **定員**:13人 **参加費**:あり
集合:道の駅奥伊勢おおだい 9:30 JR三瀬谷駅 9:50 大杉谷自然学校 10:40
解散:道の駅奥伊勢おおだい 19:15 JR三瀬谷駅 19:00 大杉谷自然学校 18:10

◎山☆川 Kids!

日程:5/4(月祝)、5/5(火祝) **時間**:各日 13:00~15:30 **対象**:家族 **定員**:30人 **参加費**:あり
集合解散:ホテルの里公園跡地 **共催**:大台町生物多様性協議会

◎わくわく宮川キャンプ

1泊2日 **日程**:①8/4(火)~5(水) ②9/21(月祝)~22(火祝)
2泊3日 **日程**:8/25(火)~27(木)

どちらも

時間:1日目 10:40~2日目・3日目 13:20 **対象**:小1~中3 **定員**:13人 **参加費**:あり
集合:道の駅奥伊勢おおだい 9:30 JR三瀬谷駅 9:50 大杉谷自然学校 10:40
解散:道の駅奥伊勢おおだい 14:35 JR三瀬谷駅 14:15 大杉谷自然学校 13:20

◎家族で川遊び

日程:①8/1(土)、②16(日) 宮川で川遊び! ③8/8(土) 宮川の源流で川遊び! **時間**:①②10:30~15:00
③10:00~15:30 **対象**:家族・一般 **定員**:①②45人 ③30人 **参加費**:あり
集合解散:大杉谷自然学校

◎家族でキャンプ

日程:5/2(土)~3(日祝) **時間**:13:00~翌14:00 **対象**:家族・一般 **定員**:10組 **参加費**:あり
集合解散:大杉谷自然学校

♪子ども服のリサイクル交換コーナー(無料)常設中 (もらっていくだけでもOKです!)

♪毎月11日はイオンのイエローレシートの日!!(イオン伊勢店の三重みなみ子どもネットワークのBOXにイエローレシート入れて下さいね<m(_)>) マックスバリュラパーク店の登録は終了しました。

♪チョコレート・カテキン茶・乾燥あげ・こんにやくも買っていただくことでチャイルドラインへの寄付金になります! ご入用の方はみんなネット事務所までお問合せ下さい。



《随時発行》NPO 法人三重みなみ子どもネットワーク【みんなネット】

Tel 0596-28-5692 Fax 0596-28-5679
〒516-0037 伊勢市岩渕 2-3-13



<https://kodo.mo21.com/>

